

科目名	グローバルインターンシップ		英文表記	Long Term Internship		H23.4.12			
科目コード	6022								
教員名：【機械システム】中本正一郎，真鍋幸男【電子通信】石田修己，杉本和英 比嘉勝也，兼城千波，【情報】タンスリヤボンスリヨン、バイティガザカリ【生物資源】平山けい，平良淳誠 技術職員名：						作成			
対象学科／専攻コース			学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間	
全コース			専2	選	学修	2単位	演習	前期	
目標及び評価方法	目標項目				評価方法及びその割合				
	①海外での研修（企業・語学研修など）を通じて実践的な技術・語学力を身につける。				①研修（日報による報告）（30%） 研修先評価（30%）				
	②異文化理解に必要な基礎的な素養・協調性・能力・価値観を身につける。				②研修先評価（20%）				
	③海外での研究・学習を通して、グローバルな視点で物事を考え、研究を遂行できる能力を身につける。				③研修報告による評価（20%） 上記①②③の60%以上で合格とする。				
：				：					
：				：					
高専目標	1	2	3	4	JABEEプログラム名称	機械システム工学	情報通信システム工学	メディア情報工学	生物資源工学
	◎		○		JABEEプログラム教育目標	A-1,B-1,B-2,B-3,C-1,C-4,C-5	A-1,A-3,A-4,B-1,B-2,B-3,C-1,C-2,C-3	A-2,A-3,B-1,B-2,C-1C-2,C-3	A-3,B-2,B-3,C-2
授業概要、方針、履修上の注意	1. 履修を希望する学生は、各コース科目担当教員の指導を受け、授業計画に基づいて、インターンシップを実施する。 2. 実際の現場で長期にわたって業務を体験することで、実践的な技術を理解する。 3. 長期間にわたる実務経験を通して、職業意識を向上させ、実社会に必要な素養・協調性・能力・価値観を身につける。 4. 学校教育と就業体験の結合により、より高い職業意識を育成し、自主性・創造性溢れる専門性高い人材生成を目指す。 5. 習得した専門知識を生かし、学外における実務研修により、実社会で必要な要素・能力（企画力、計画性、実行力、労働・契約の意義、コミュニケーション能力、情報管理など）を実践レベルで身につける。								
教科書・教材	教員作成資料、企業作成資料								
授 業 計 画									
回数	授 業 項 目	時間	授 業 内 容				予 習 項 目		
1	講義内容説明・ガイダンス	1	インターンシップの意義と講義の進め方についてガ						
2	インターンシップ先企業研究	60	約14日間程度、海外受入機関(大学・企業)におい				調査		
3	成果報告まとめ	29	インターンシップ報告資料を作成し、提出する。				与えられる課題・調査項目		
学習時間合計		90	実時間				75		
学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など） 企業調査、報告書作成（30時間）を含め、総合計時間を90時間以上とする。									

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。(50分=1、100分=2)